

稲作だより

第4号

令和7年5月12日発行
やまがた温暖化対応
米づくり日本一運動
西村山農業技術普及課
TEL: 0237-86-8301

5月14日頃から、かなり高温の予報！(仙台管区气象台、5/8発表)
適期移植と移植後のきめ細やかな水管理で、初期茎数を確保！

田植えまでの育苗管理

○育苗後期の最適温度は15～20℃（昼間25℃以下、夜間5℃以上）です。

- ・ハウス内の温度が**25℃以上の管理は、徒長苗、老化苗の原因**になります。徒長苗は、田植え後の新根発生が停滞し、活着が遅れやすくなるため、注意が必要です。
- ・ハウス内の温度が5℃以下の管理は、ムレ苗などの生育不良の原因になります。**天気予報を確認し、夜温が5℃以上であれば、育苗ハウスやトンネルは開放**しましょう。

○**田植え1週間前頃から育苗ハウスやトンネルを開放**し、苗を外気に慣らしましょう。

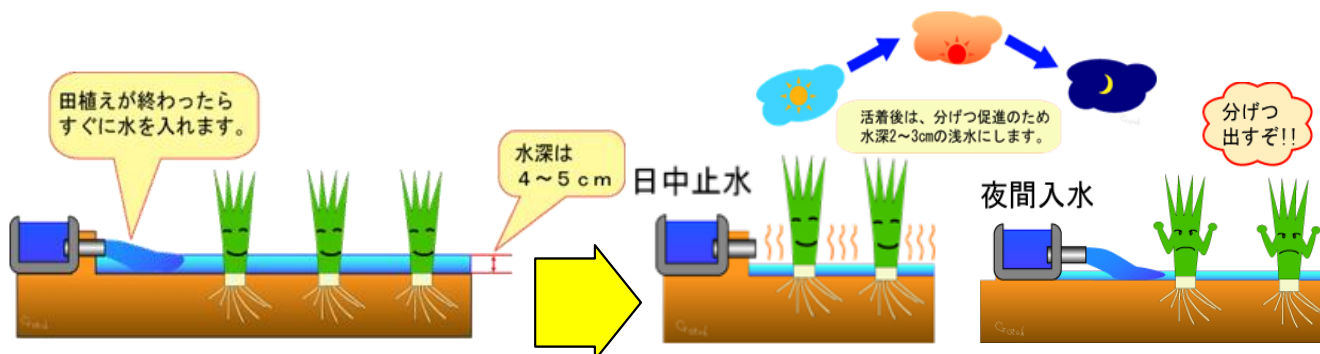
本田初期の管理

1 田植え

- ・**適期は5月15日～20日頃、晩限は5月25日!!**
適期内に終了できるよう、計画的に作業を進めましょう。
- ・低温や強風下での田植えは、植え傷みの原因となり、活着や生育初期の遅れに繋がります。天気の良い日を選んで田植えを行いましょう。
- ・**栽植密度は70株/坪、株当たり4～5本、植付け深3cm**を目安に行いましょう！
過度な疎植や極端な深植えは、茎数不足になるので避けましょう。

2 水管理

- ・**田植え直後は、4～5cm程度の水深**で活着を促進しましょう！
風や外気から苗を保護することで、苗の消耗を防ぎ、新根の発生を促します。
- ・**活着後は、2～3cmの浅水管理**とし、分げつの発生を促進しましょう！
- ・日中止水・夜間かんがいの保温的管理を行い、分げつの発生を促進しましょう！



3 除草剤の施用

- ・ **気温が高いと、ヒエやホタルイ等の雑草の葉齢も一気に進みます。** 雑草の発生状況、除草剤の使用時期をよく確認し、遅れないように散布しましょう。
- ・ 散布時の水深は、粒剤・フロアブル剤が **3~5cm**、ジャンボ剤が **5~6cm** です。田面が露出すると、除草剤の拡散が不十分となり、除草効果が劣るので注意しましょう。
- ・ **散布後 7 日間は止水**し、田面の露出を防ぎましょう!!
- ・ 代かきをゆっくり丁寧に行い、圃場を均平にし、水持ちがよい圃場にしましょう。
- ・ 漏水しやすい畦畔は補修等を行い、漏水を防ぎましょう。
- ・ ワキの発生が毎年みられる圃場では、**一発処理除草剤散布前に田干し（1~2 日程度落水）**を行うことで、ワキによる被害を軽減できます。

土壌の異常還元対策

- ・ **土壌の異常還元(ワキ)は、晴天・高温が続くと発生**します。ワキが発生すると、根の活力が低下し、葉が黄化して初期生育が停滞します。
- ・ 晴天・高温が数日続く場合は、2~3 日おきに、用水の入替えを行い、根に酸素を供給しましょう。
- ・ ワキの発生がみられたら、**水交換、夜間落水、田干し**を行い、ワキの軽減に努めましょう。

**盛んに気泡が発生！
水交換や田干しで対応！**



表 「ワキ」の発生程度による生育への影響と対策

「ワキ」の程度	生育への影響	対策
水田を歩くと気泡が発生する	中：根の活力低下	水交換
水田を歩くと盛んに気泡が生じ、においを感じる	大：根張り不良	水交換、夜間落水
水田を歩くと著しく気泡が生じ、においを強く感じる	特大：根の伸長阻害 地上部黄化	田干し（曇天日 2 ~ 3 日）

春季農作業事故防止運動強化期間(4/1~6/10)

- ◎トラクターや田植機等による事故に十分注意しましょう！
- ◎農薬は、ラベルをよく読んで適正に使用しましょう！

LINE を活用した情報提供を行っています。
QR コードを読み取り登録の上、ぜひご活用ください！

